

# 彼方「かなた」

校長通信  
H24.11.5  
Vol.29

## 【T&E（試行錯誤）】

今月の経営の重点は、「T&E（試行錯誤）」です。動かねば何も変わりません。変わるといことは成長するということです。山積する教育課題をひとつひとつ解決することが、子供たちの成長につながるってきます。その課題解決のための試行を繰り返していきこう！ということです。

今年度も中盤を過ぎ、これまでの取り組みの成果が、可視化できているかどうかを確認する時期になりました。併せて目標実現できていないものについては、試行錯誤を繰り返し、新たな戦術を打ち立てながら実現していかなければなりません。

ただし、十月の重点に掲げた「スモールステップで！」は、まだまだ不十分なので、今月も意識して取り組んでいきたいと思えます。

自己肯定感、有用感を高め、現状を改善するためにブレインストーミング（否定しない、自由に奇抜に、質より量、相乗りOK）を行い、多くのアイデアを出し合い、試行していくことが今月の目標です。どんな小さなことでもやり続けると必ず変化が見られます。改善されます。ダメなのは動かないときです。「やろうと決めたのにやらない！」これが一番だめです。「やったけどうまくいかない！」これは何の問題もありません。なぜなら上手くいくまでい

ろいろ工夫し、取り組めばよいだけからです。これは、試行錯誤するという今月の重点そのものです。具体的には次の各項目を意識していきたいと思えます。

○「**共生の学び合い**」：授業改善は、学校を成長させるひとつです。次の各項目を再度意識して、授業づくりを進めていきたいと思えます！

- ・ 学習課題の明記（青枠で）
- ・ 高めの目標設定

・ 「教えてー」「いいよ！」が言いえる関係づくり

・ 学習形態の工夫（ペア、グループ、班等）

・ 形成評価の工夫（全員が「わかった」「できた」）

・ 家庭学習への意欲づけ（宿題の確認）

・ 名前を呼ばれたら「ハイ！」と返事をし、立って答える。

○「**黙想と写本**」：何のために取り組んでいるのか、その目的を明らかにし、工夫したいのです。

- ・ 必ず600字埋める。
- ・ その日のうちに提出する。

・ 年間で本を百九十冊紹介する。

○「**笑顔の挨拶**」：挨拶は笑顔をつくるのです。

・ また来たくなるような来校者への挨拶。

・ 笑顔で挨拶。（オプシオン付きの挨拶）

・ 自分から挨拶。（自主貢献）です！

○「**感動の歌声**」：1学期を超える感動を聴衆に与えたいのです。

- ・ 学年内の底上げを図る。
- ・ 学級の取り組みを一学期より工夫する。
- ・ みんなで創る歌声。

○「**継続の家庭学習**」：一人稽古できる生徒を育てたいのです。

- ・ 家で自分から学習する時間を確保する。
- ・ 継続を評価する。

・ 学級、学年での取り組みを工夫する。

○「**充実の自治活動**」：学校改善を生徒と一緒に進めていきたいのです。

- ・ 学級、学年の取り組み状況を明らかにする。
- ・ 取り組みを評価し、改善策を実行する。

・ 改善点が可視化されるように工夫する。

今の時代は、「正解」をひとつだけ求める時代からみんなが納得できる答え、「納得解」を求め、その都度修正しながら進んでいく成熟社会に入ったと言われています。（杉並区立和田中学校元校長 藤原先生の講演より）日本の正解を求める入試システムやテスト偏重の学校教育には、なかなかメスが入っていきませんが、わが湖北中学校は、知徳体のバランスのとれた教育実践を推進し、課題をひとつひとつ丁寧に解決しながら「自主貢献」の教育目標の元、自主的に判断・行動し、助け合える生徒の育成を目指して取り組んでいきたいと考えます。

本校にも自分の良さを表現できず、苦しんでいる子どもたちが少なからずいます。でもどの子も変わりたい、勉強がわかるようになりたい、いい大人になりたい、誰かの役に立ちたい、と絶対に見ています。彼らが素直に表現できるまで私たち大人はあきらめずサポートし続けなければなりません。